

MR 各位、院内感染対策に協力を！

病院は「営業の場」？ いいえ、「癒やしの場」です！

2018年07月09日 05:55

[クリップ済\(一覧はこちら\)](#)

20名の先生が役に立ったと考えています。

院内感染対策の一環として病院の清掃・環境整備を徹底しても、病院に出入りする製薬企業の医薬情報担当者(MR)などの外部業者がその努力を台無しにしている可能性がある。京都第二赤十字病院感染制御部部長の下間(しもつま)正隆氏は、同院で目にする、感染対策を顧みないMRの問題行動を第92回日本感染症学会／第66回日本化学療法学会(5月31日～6月2日)で報告。病院は免疫力の低下した患者の療養の場であり、病院職員、外部業者にかかわらず、おのこの感染対策マニュアルを遵守して行動することが重要だと訴えた。

MRは全く感染対策教育を受けていない

病院には院外からさまざまな細菌やウイルスが持ち込まれており、感染対策が重要なことは論をまたない。感染対策の三本柱は、①手指消毒(直接的な伝播の防止)②抗菌薬の適正使用③病院清掃・環境整備(間接的な伝播の防止)―だが、下間氏は「病院清掃・環境整備」が、現時点で最も効果が期待できると考え、同院では近年、特にこれに力を入れて取り組んでいる。院内感染を少しでも減らす目的で、職員とハウスキーパー(病院清掃担当者)に対して感染対策に関する講習会を頻回に実施している。そして、外来の職員は毎朝、患者用ソファを心を込めて清潔に除菌している(図1)。

ところが、それを無駄にするような、MRによる非常識な行為を頻りに目にすると同氏は憤る。院内の床に直置きしたかばんを患者用ソファに置く(図2)、有咳時でもマスクをしない。さらに、通行禁止の感染性廃棄物保管エリアを通過して院内に入るなど、病院のルールを守らない者が多数存在するという。

「病院職員は感染対策教育を受け、患者を中心に行動している。病院に出入りするMRも同じ意識を持つべきと考えるが、院内で無用な病原微生物を振りまかないためにはどう行動すべきか、といった感染対策教育を自社社員に施している製薬企業は全く見られない」と同氏は言う。

そこで同氏は、2014年に外部業者を集めて感染対策の講義を行った。しかし、多くの参加者は病院職員ほどの熱意はなく、主体的行動には結び付かなかった。終了後に配布資料を捨てて帰った者もいたという。「病院は費用と手間をかけて除菌しているのに、意に介さないMRがやって来ては、他の病院から運んできた耐性菌を付けていっている。これは由々しき問題だ」と同氏は強調した。

図1. 外来の職員は毎朝、患者用ソファを心を込めて清潔に除菌している

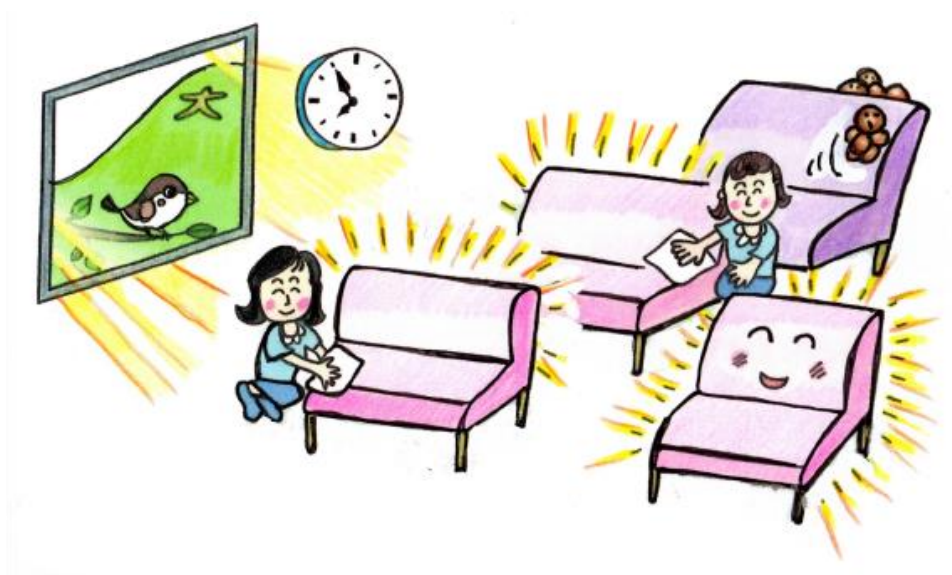


図2. 院内の床に直置きしたかばんを患者用ソファに置くMR



(図1、2とも 下間正隆: イラスト みんなの感染対策、照林社、2016p214-216)

"病院は患者の療養の場"という認識に基づき行動すべき

下間氏は同院に出入りする外部業者に対して、自社で感染対策マニュアルを作成し、遵守することを要請している。リネン、おむつリース、医療機器納入業者は積極的にマニュアルを作成し、提出してくれるという。

例えば、リネン納入業者のマニュアルは「清潔リネンが汚染しないための対策」「集配ドライバー自身の感染対策」「清潔リネン納品時の感染対策」「車両消毒について」「マスクについて」など多項目に及ぶ。このうち「清潔リネン納品時の感染対策」としては、「(病院搬出入口の)1つ目のドアの手前で手指消毒する」「手袋は持参の感染性廃棄物袋に捨てる」というふうに、守るべきルールが具体的に書かれている。

一方で、製薬企業各社が提出してきたマニュアルは、全て期待するレベルにはほど遠く、中には提出を拒否する大手製薬会社もあるという。「優れた医薬品を開発・供給することで人々の福祉と医療の向上に貢献することを使命とする製薬企業こそ感染対策教育を徹底し、自社マニュアルを作成・遵守すべきと考えるが、実行されていないのが現状である」と同氏は指摘した上で、病院内でMRが守るべき事項として表に示す5つを挙げた。

表. 病院内でMRが守るべき5箇条

- 外部業者が守るべきその病院のルールを遵守するべし！
- 自宅のリビングのソファの上に置く自信のある清潔な物以外は、患者用ソファに置くべからず！
- 咳エチケットやインフルエンザ流行期などの院内マスク着用ルールなど、正しく理解した上で適切にマスクを着用するべし！
- 患者に迷惑のかからないよう、決められた場所から出入りするべし！
- 靴音のする革靴やハイヒールで、患者の癒やしの場である病院内を歩くべからず！

。以上をまとめて

「病院は患者の癒やしの場である。営業の場ではない！」

と心得るべし！

（下間正隆氏提供）

同氏は「病院職員、外部業者にかかわらず、病院は免疫力の低下した患者の療養の場であるという認識を肝に銘じ、おのおので感染対策マニュアルを作成し、それを遵守することが重要である」とあらためて強調し、発表を結んだ。

（株式会社メディカルトリビューン大阪企画編集部 長谷部弥生）

下記掲載サイトを見るにはメディカルトリビューンへの登録（無料）が必要です。

<https://medical-tribune.co.jp/news/2018/0709514825/>

以上